

情報公開文書書式

研究課題名	回復期リハビリテーション病棟のるい瘦患者における管理栄養士と歯科衛生士配置と日常生活動作向上、体重増加との関連
研究責任者	岡本泰幸
所属	一般社団法人回復期リハビリテーション病棟協会栄養委員会 (愛仁会リハビリテーション病院 栄養管理科)
研究期間	承認日 ~ 2026年3月31日
研究目的と意義	令和6年度の診療報酬改定よりリハビリテーション・口腔・栄養の三位一体の取り組みが推進され、リハビリテーション・栄養・口腔連携加算及びリハビリテーション・栄養・口腔連携体制加算が新設されました。回復期リハビリテーション病棟では回復期口腔機能管理料等が新設され、一部の施設では歯科医師及び歯科衛生士がリハビリテーションチームの一員として参画し、患者のADL改善を目的とした取り組みを実施しています。歯科衛生士の介入により回復期リハビリテーション病棟の入院患者における口腔衛生状態の悪化は、退院時ADL、自宅退院割合、院内死亡率、入院期間等と関連する報告があり、栄養管理においては栄養状態の改善が退院時ADLの向上する報告があります。管理栄養士と歯科衛生士の両者が関与した研究ではリハビリテーションを受けている嚥下障害患者において嚥下機能が改善した報告はありますが、FIM利得の向上や体重増加に至った報告はありません。各々の役割から管理栄養士と歯科衛生士が在籍する病棟では在籍していない病棟と比較し栄養管理と口腔ケアが実施しされやすく、ADLや体重増加に好影響を与えられている可能性があると考え、比較検証をするために計画しました。
研究内容	●対象となるデータ 回復期リハビリテーション病棟協会年次実態調査(2022年8月実施) A票(病院情報)、B票(病棟情報)、D票(患者情報)
	●利用する情報 病院種別、入院料種別、配属スタッフ数、症例情報(年齢、性別、原疾患、在院日数、発症から入棟までの期間、リハ単位数、FIM、身長、体重、経管栄養の有無)等
	●研究方法 上記情報を実態調査データファイルから抽出し、欠損値を適切に取り扱った上で管理栄養士の有無、歯科衛生士の有無で群分けし比較を行います。この群間のアウトカム(FIM利得、BMIの変化、経管栄養患者の経口摂取移行率)について単変量解析及び多変量解析を用いて検証します。
倫理的配慮および個人情報の取り扱い	本研究は病院、病棟に関する情報と既に匿名化されている患者情報を用いた研究であり、病院・病棟や個人を特定できない状態のデータを解析します。研究の実施に際しては「ヘルシンキ宣言」および「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」に則り、患者さんの人権の保護に最大限努めます。
問い合わせ先	所属：社会医療法人愛仁会 愛仁会リハビリテーション病院 診療技術部 栄養管理科 岡本泰幸 住所：〒569-1116 大阪府高槻市白梅町5-7 電話：072(683)1212 受付時間：月～金 9:00～17:00(祝・祭日を除く)